

2020年4月6日

取手市 教育長 伊藤 哲 様

日本共産党市議会議員 加増 充子  
遠山智恵子  
関戸 勇  
小池 悦子

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についての要請書

新型コロナウイルス感染症拡大をめぐる状況が日々変化する中、取手市でも地域の拠点病院での院内感染と感染者発症があり、また連日の報道では東京都の感染者が増え続ける状況に、不安や心配の声が高まっています。取手市でも対策本部を立ち上げ、対応にご奮闘くださっていることと存じます。対応へのご尽力には心より敬意を表します。

今後、長期化する大変な事態の中で、市民のいのちとくらしを守る行政の役割も一層の対応策が求められていくことと存じます。

取手市は現段階では、国や県の方針を受け、それに伴い対応策を図る状況となっています。

学校の引き続く長期休校、医療への不安、地域経済の深刻化など、取手市として取手市民のための対応策を、丁寧に行うことが求められています。大元では国策でありますので、市民のために国に求めるべきはしっかりと求める自治体の役割を十分に発揮していただくことを強くお願いいたします。

特に、学校は5月6日までの長期休校が決まり、学校現場はもちろん、児童・生徒、保護者、保護者が働く企業・事業所など更なる混乱が予測されます。

教育委員会と学校の役割として、子どもたちの成長や健康を支え、教育環境の整備・学習支援・指導など学ぶ権利をどのように守っていくのか、取手市として子どもたちのいのちと健康を守り、暮らしへの影響を最小限に食い止めるために、どう対応していくのか、市民から寄せられた切実な要望を踏まえて、現段階で私たちが考える対応策について以下の通り要請いたします。

#### 記

- 一 更なる長期休校となり、子どもたちにも保護者にも様々な形でストレスが生じている中、生活や学習支援のサポートが必要であり、議会からの要望書を踏まえて、3月休校の教訓を生かすことが大事ですので、保護者などの要望に応じて学校は開放し、教員による学習支援活動・生活支援など対応を図ること
- 二 休校中の児童・生徒への家庭訪問などを行い、子どもたちの状況把握に努め、子どもたちの不安や悩みに寄り添った対応を図ること

- 三 休校中の子どもクラブの対応については、この間の対応に引き続き、兄や姉がいても新四年生など、年齢や学年を線引きせずに、家庭の状況や保護者の事情など丁寧に把握し、柔軟な受け入れと対応を図ること  
ホームページなどによる案内文も、「ご心配・ご不安などご相談ください」という内容の親切な文言を明記し、受け入れ窓口を広げること
- 四 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休校中の子どもクラブ利用料は無料にすること
- 五 子どもクラブに体育館やグラウンドを開放すること
- 六 新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う休校及び公共施設の休止などに関し、休業・休暇など、直営・委託・管理代行など事業者と、そこに働く正規もパート・臨時等非正規職員も含む収入減少の実態を把握し、補償を行うこと  
給食食材等の納入業者に対して、損失を補てんする措置をとること
- 七 給食がないために子どもたちの昼食に保護者は苦慮している状況は明らかであり、希望者などには給食（昼食）の提供を行うこと
- 八 新型コロナウイルス感染症防止対策には、自粛と補償を一体で行うことが必要であるが、現実として政府の対応は遅すぎる状況にあるため、国の政策財源待ちでなく、財政調整基金の活用で、取手市としての速やかな対応を図ること